

# 戦気

Fighting Spirit

発行者:三谷大和  
 編集者:岩井淑  
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム  
 電話 & Fax:047(486)2476 ツヨクナロー  
 メール:mitani-y@khaki.plala.or.jp  
 URL:http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの  
 ごんごちゃんです



## 7月14日 スーパーフライ級・6R 福本雄基・判定勝利！！

7月14日、三谷大和ジムきってのイケメン・ボクサー：福本雄基が後楽園ホールに登場した。対戦相手は宮田ジムの田部井要選手（4勝(3KO)2敗1分）

田部井選手はファイターであり1ラウンドから積極的に前に出てくる。パンチは大振りですが正確性はないが強いパンチだ。福本は懐に潜られるのを嫌い上半身を前かがみにするため本来のステップワークの冴えが影を薄める。

2ラウンドで福本の右脇が切れた。アナウンスでは「有効なパンチによる」と放送されたが実はバッティングであった。福本にとって苦しい戦いが続いた。一進一退の攻防はラウンドの前半は田部井選手が優勢、後半は福本が優勢という状況が最終6ラウンドまで続いた。

両選手が技と体力と精神力を出し合って全力で闘っているのがリングサイドに直に伝わってくる。声援も大きい。最終ラウンドに疲れてきた田部井選手が相手選手を押さえつけて打つホールディングの反則が出て減点1をレフェリーは宣告した。判定結果は3：0(58:57,58:57,58:56)で福本が勝った！

### 福本選手の感想

田部井選手からボディを度々打たれたが効いてはいなかった。それよりも相手のバッティングが多く、数回意識が飛んだ。痛く苦しい戦いだった。今も頭が痛い。

### 三谷会長のコメント

今日の福本の動きは最後まで止まらず100%の出来だった。相手が前へ前へ出てきて戦い辛かったと思うが身体を入れ替えるなど上手く対応していた。相手はパンチも強く苦戦した。相手のスピードがもう少し速かったら捕まっていたかもしれないが、この勝利でいよいよ福本もA級ボクサーだ。この苦戦を糧に進化しよう。



### シリーズ：選手紹介

profile

### 斉藤司(18歳)

生年月日:1990年6月30日

出身地:千葉県富津市出身

階級:フェザー級

戦歴:3戦:3勝(1KO)

2006年04月、三谷大和ジムへ入門

2007年09月、プロデビュー初勝利

好きな言葉:会長 命!

好きな選手:三谷大和会長

自分の目標:今年は全日本新人王になること!

最終的には世界チャンピオンになること!



### ごんごちゃんを見た！！

5月9日、JBC公認の女子プロボクシング試合が後楽園ホールで熱く戦われ、今年は女子ボクシング元年です。その動きを受けNHK木曜ドラマで『乙女のパンチ』が放映されています。7月10日(第4回)放送に三谷会長がライトブルーのシャツに黒の蝶ネクタイ姿で日本ライト級タイトルマッチのレフェリーとして颯爽と登場しました。短いながら演技も堂に入ったものでした。また、7月28日TBSテレビ放送予定の『内藤大助物語』と同日テレビ朝日放送の『Qさまテレビ』にも出演予定で三谷会長は1ヶ月間に3回テレビに登場します。



後楽園ホール

## 第65回 東日本新人王トーナメント戦 三谷ジム快進撃

7月の東日本新人王トーナメント戦には三谷ジムから玄間晃裕、山本直平の2選手が出場し2選手ともに勝利し来月は6人が準々決勝戦に登場します。

### 玄間晃裕 判定勝ち(7/2)



1Rはイーブン、2Rは明らかに玄間のポイント、3Rは対戦相手の深谷選手にポイントを取られ、勝敗は最終4Rをどちらが取るかにかかっていたが玄間は積極果敢に打って出て右ストレートや左フックが度々深谷選手にヒット。玄間は打たれても怯まない。ボクサーにとって大切な強いハートを持つ。判定の結果3：0(39-38、39-38、40-37)で玄間が勝利し準々決勝戦へ。

### 山本直平 判定勝ち(7/2)



1Rから4Rまで一貫して山本が対戦相手の遠藤選手にプレッシャーを掛け続け前進するが相手は細かいパンチを繰り出し中々クリーンヒットを許さない。ラウンドが進むに伴い山本は得意の左ボディ、右アッパーを繰り出す。重いパンチだ。この試合も勝敗は最終4Rをどちらが取るかに掛かったが、対戦相手の遠藤選手のスタミナが切れた。判定結果は2：1(39-37、39-38、38-39)で山本が押し切り第2戦をものにし準々決勝戦に駒を進めた。

### スケジュール

- 8月01日 上野康太 第13戦
- 8月04日 鬼ヶ島竜 新人王2回戦
- 8月05日 斉藤司、岩井大、加藤健太 新人王3回戦
- 8月19日 玄間晃裕、山本直平、新人王3回戦

### 編集後記

新人王トーナメント戦の熱い戦いが展開されている後楽園ホールに度々足を運びます。勝ってリング上で雄たけびを上げる選手。負けてリングから悔し泣きしながら降りてくる選手。様々ですが「勝って敗者をいたわり、負けて勝者をたたえる」、選手には高い精神性が重要です。